

遺言書

遺言者 カラターエフ は、この遺言書でピエールに次のとおり遺言する。

一、 完全な自由などないように、完全な不自由もない

付言事項

どんなにひどい目にあってもつらいのは一瞬

人生は長い。クヨクヨするな。

悲しんではいけない。

死んでいった者の魂が悲しみの種になってしまう。

無実の者が処刑されたのもきつと無意味ではない。

わたしもあなたも処刑された者も牛も馬も草も木も

フランス兵だってみんな繋がってひとつなのだ。

みんな地球の歴史を構築するための歯車。

そういうもんだ。

一八一二年九月二日（ナポレオンがモスクワに入った日）

モスクワにて

ロシア人捕虜 カラターエフ

※ 引用に用いた文献

戦争と平和（トルストイ作）
イーストプレス